



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4344 号 2018.4.27 発行

NHKハート展 始まる

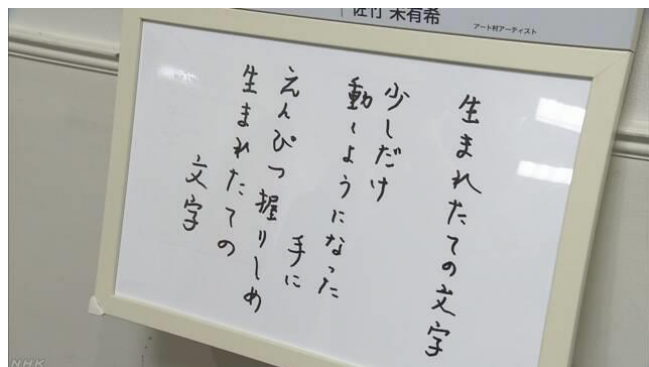


NHK ニュース 2018年4月26日
障害のある人たちがつづった詩にアーティストが描いた絵などを添えて展示するNHKハート展が26日から東京都内で始まりました。

NHKハート展は、障害のある人もない人も理解し合い、ともに生きる社会を目指そうとNHKなどが毎年開いているもので、初日の26日は東京・渋谷の会場で開会式が行われました。会場では、4000点余りの応募作品の中から選ばれた50の詩に、テーマ

に合わせてアーティストが描いた絵などが添えられて展示されています。

このうち、千葉県の間根晴美さん（57）の詩「生まれたての文字」は、少しだけ動くようになった手で文字を書ける喜びがつづられ、思いをのせた文章が人々に届くようにという願いを込めて、アーティストの佐竹未有希さんが描いた空の絵が添えられています。



また、岡山県の日熊優花さん（16）の詩「耳の凄さ」は、耳が聴こえなくてもできることはあるというメッセージとともに、イラストレーターのKEIさんが描いた目をとじて耳をすます少女の絵が添えられています。

NHKハート展は来月5日まで東京・渋谷の東急百貨店本店で開かれ、そのあと全国11か所の会場でも順次、開催されます。

出生前検査 十分なカウンセリングの仕組み作り検討へ NHK ニュース 2018年4月27日
おなかの中の赤ちゃんに染色体の異常などがいないか調べる出生前検査は、高齢出産の増加とともにニーズが高まっていますが、検査の前後に行うカウンセリングの充実が課題となっていて、日本産科婦人科学会は新たな委員会を設置して、十分なカウンセリングを行うための仕組み作りを検討することになりました。

おなかの中の赤ちゃんに染色体の異常などがいないか調べる出生前検査について、日本産科婦人科学会は、検査の前後に妊婦のカウンセリングを行うことを医療機関に求めています

が、針を刺して羊水を採取して調べる羊水検査などでは、カウンセリングが十分に行われていないケースがあるとされています。

このため、学会は、専門家からなる新たな委員会を設置してカウンセリングを充実させることになりました。

委員会では検査でわかる染色体異常などの医学的な説明だけでなく、生まれたあとの症状の経過や予想される生活のほか、福祉サービスなどの支援体制について説明などを充実させたいとしています。

出生前検査は高齢出産の増加とともにニーズが高まっていて、委員会は今年度末をめどにマニュアルを整備するなどの具体的な仕組み作りを検討することとしています。

日本産科婦人科学会の久具宏司医師は「十分な支援が必要な検査であり、カウンセリングが適切に行われるようにしていきたい」と話しています。

おなか痛いをわかってほしい



NHK ニュース 2018年4月26日

小学校や幼稚園、保育園に入ったばかりの子どもが口にする「おなか痛い」。

そのつらさをわかってあげて、というツイートが話題になっています。

私も同じ体験をしたばかり。

“おなか痛い”の原因は私にもあったのかもしれない。

(ネットワーク報道部記者 戸田有紀 管野彰彦 栗原岳史)

「おなか痛い」

今月、3歳の娘が突然、言いました。

明らかに食欲はなく、元気もなさそうです。実は、4月から保育園の園舎が変わり、通い慣れた場所とは別のところに通い始めたばかりでした。

クラスが合同になって、子どもの数は倍に。担任の先生も、看護師や調理師の職員も、教室も遊ぶおもちゃもすべて変わりました。

当初は緊張していたものの、2週間ほどたち新しい友達もできて、元気に通っているように見えた、そのやさきでした。

しばらく様子を見ていましたが、「おなか痛い」と繰り返します。夕飯に出した大好きなカレーライスも残してしまい、自分からベッドに行き寝てしまいました。

突然の“おなか痛い”

「おなか痛い」今月、3歳の娘が突然、言いました。

明らかに食欲はなく、元気もなさそうです。実は、4月から保育園の園舎が変わり、通い慣れた場所とは別のところに通い始めたばかりでした。

クラスが合同になって、子どもの数は倍に。担任の先生も、看護師や調理師の職員も、教室も遊ぶおもちゃもすべて変わりました。

当初は緊張していたものの、2週間ほどたち新しい友達もできて、元気に通っているように見えた、そのやさきでした。

しばらく様子を見ていましたが、「おなか痛い」と繰り返します。夕飯に出した大好きなカレーライスも残してしまい、自分からベッドに行き寝てしまいました。

ネット上でも“おなか痛い”

この“おなか痛い”。ネット上でも話題になっています。



「新学期になって、『お腹が痛い』という新小1や新幼稚園児が増えています。その痛みは本物です。『痛いね、辛いね』と共感してください」



この投稿に8000件を超えるリツイートがありました。

「自分も子どものとき、お母さんに『お腹痛いから無理しないで休もうね』って言われてすごく救われました」

『嫌だ』という子のほとんどは保育園などが嫌なのではない。家庭の居心地の良さを求めている子が多い」などなど。

自分も経験したという話、子どもへの対応方法

など意見はさまざまですが、読み込んでみると、“おなか痛い”を経験した人や、親となつてから“おなか痛い”の対応に苦慮した人がたくさんいることがうかがえました。

ストレスも、食事の変化も

なぜ、この時期に腹痛が起きるのか。「新しい環境へのストレス、また食べ慣れた家庭での食事から給食に切り替わるような変化で腹痛となることがあります」

腸内の免疫の働きに詳しい、理化学研究所・生命医科学研究センターのチームリーダー、大野博司さんの話です。



大野博司さん

ポイントは胃酸の分泌や腸内細菌の状態。慣れない環境での生活が続くことでストレスがたまったり、また食事がこれまでと変わったりすることで、胃酸の分泌量が増えて粘膜を傷つけたり、腸内細菌のバランスが崩れたりすることがあるそうです。

こうした状態が一時的な腹痛や下痢を引き起こ

すことがあり、体が環境に適応していくと治るケースが多いと話していました。

「特にストレスは胃潰瘍など、胃腸の異変を来すことは動物実験でも証明されています」

「小さな子どもでもストレスがおなかに影響する、それは肝に銘じてほしいです」

子どもは表現できない

子どもは、ほかにも不安を抱えていると指摘する専門家もいます。



養護教諭を務めた経験があるNPO法人「子育てひろばほわほわ」の顧問、永瀬春美さんにも話をきいてみました。

永瀬さんはまず、“おなか痛い”には病気の可能性もあるので診察を受けることが大事だと考えています。そのうえで慣れない新生活に加え、「不安な気持ちを表現できないこと」、それが重なって腹痛の症状が出ることがあるとみえています。

わかってももらえないジレンマ

「表現できない」とは例えば次のようなケースです。

「日頃の親子関係の中で、子どもに『そんなこと言わないの』とか『平気、平気』などと言って、不安な気持ちをうまく感じ取ってあげられないことがあります」

「すると、子どもは自分の気持ちが否定されたと感じます。そうした経験が積み重なると、感情を素直に表現できなくなってしまうんです」

不安な気持ちをわかしてほしい→だけど、言ってもわかってももらえない。

新生活の不安にそのジレンマが加わって、腹痛を引き起こしていることもあるという指摘です。

子ども本位で

では、“おなか痛い”にどう対応すればいいのか。

大事なのは“子ども本位という姿勢”だと永瀬さんはアドバイスしています。

『不安だよ』『何に困っているの?』といった言葉で、子ども本位になって不安な気持ちを認めてあげることです

「不安を子どもひとりに抱え込ませないこと。

親が寄り添っているという姿勢を示すだけで、安心して症状が緩和されることもあるんです」



完璧な子育てはない

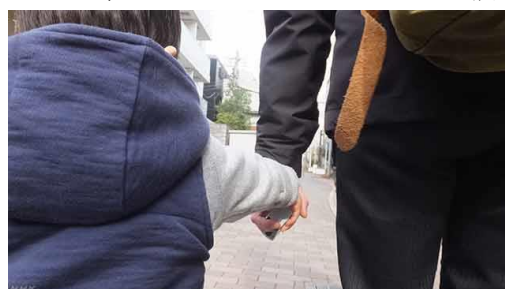
慣れない新生活、表現できない不安、それに加えてもう一つ、永瀬さんが不安に思っていることがあります。

「学校や保育園を、自分の子育てがいいのか悪いのかを、評価される場所のように感じてしまう人がいます」

「例えば子どもが保育園や学校になじめないでいると、『自分の育児は失敗したのではないか』そう思ってしまう。それは強いストレスになり、小さな子どもも敏感にそれを感じとります。結果として子どもにもストレスを与えてしまうことがあるんです」

“すべてがうまくいく、完璧な子育てなど絶対はない“、それをわかってほしいと強調していました。

「完璧でなくても子どもは自分の力で成長していくので、信じてあげることも必要です。子どもは親を見てまねをするので、まずは、自分が思っていることをちゃんと言葉にして伝えていくことを心がけてほしい」



ごめんね

「おなかが痛い」と言っていた娘。夜中になると体が熱っぽくなり、計ると38度の熱がありました。

翌日に行った病院での診断は、「胃腸炎の典型的な症状」。思えば新年度、仕事が忙しくなった時、「保育園で頑張ろうね」と娘に何回も言い聞かせるように声をかけていました。新しい環境で緊張しても、なかなか親に甘えられなかったのかもしれません。

「おなか痛い」は、単なる胃腸炎でなく、そんな娘のメッセージでもあったのでしょうか。仕事を少し休んで一緒にいる時間を増やしました。

「おなかが痛いの」から10日。娘はすっかり元気になり「新しいお友達の名前、ぜーんぶ覚えたよ!」と張り切って、いま、保育園に通っています。

厚労省、子どもの医療データ活用 健康管理、疾病研究にも

西日本新聞 2018年04月25日

厚生労働省は25日、乳幼児健診や予防接種履歴といった子どもの医療データを集約し、個人の健康管理や疾病研究に活用するため、有識者検討会で議論を始めた。2018年度から各自治体での情報管理の電子化を進め、20年度からの運用を目指す。

少子高齢化が進む中で厚労省は、介護が必要になったり寝たきりになったりせず日常生活を送る「健康寿命」の延伸を掲げる。その実現のため、医療情報を政策に生かす方針で、子どものデータ集約はその一環。乳幼児期の情報から生活習慣病といった将来の病気のリスク要因などを分析し、対策に役立てる。

障害者の就労に一役 支援事業所がチッタの催しに出店 東京新聞 2018年4月27日



商品を手「企業雇用につなげるのも大事だが、自分たちで新たな事業モデルを展開したい」と話す高橋社長＝いずれも中原区で

川崎市中原区で障害者就労支援事業所を運営する「ダンウェイ」が、五月二日から六日まで、JR川崎駅東口の複合商業施設「ラチッタデッラ」で行われる沖縄文化の祭典「はいさいFESTA」に初出店する。沖縄県名護市産のシークワサー加工品販売を通じて、消費減少に悩む現地の農家を支援するとともに、生きづらさを抱えながら就労を目指す障害者に新たな働き方を示す取り組みという。（小形佳奈）

「シークワサーの独特の苦味が好き」というダンウェイの高橋陽子社長（44）が昨年十一月、講演で訪れた沖縄県の石垣島で、名護市の農産物加工業渡具知（とぐち）豊さん（50）と知り合ったのがきっかけ。

渡具知さんによると、二〇〇〇年前後に起きたシークワサーブームで生産拡大を図った同市内では現在、年間生産量の四割にあたる三百六十五トンが未収穫のまま放置されている。話を聞いた高橋さんは「障害者と一緒に、名護のシークワサーの消費拡大ができれば」と考えた。

知的障害者がホームページ制作やプレゼン資料作成をする際に手助けとなるコンピューターソフト「ICT治具」を使って商品紹介のチラシやポップを作り、FESTAでシークワサーの原液や果汁の入った黒糖などを販売することにした。チラシ作成や販売は同社で就労に向けた訓練を受ける障害者が担当する。

同社では今後、シークワサー加工品の通信販売も始める。高橋さんは「障害の特性で会社勤めができない人に、それ以外の働き方の選択肢を示せたら」と話す。

渡具知さんは名護市内の同業者や生産者と組んで消費拡大を目指す活動をしており「沖縄県の人口百四十万人を上回る百五十万人の川崎市民にシークワサーを知ってもらおうチャンス」と喜ぶ。

問い合わせはダンウェイ＝電044（740）8837＝へ。

はいさいFESTAは今年で十五回目。「石垣牛」「あぐー豚」といった沖縄産の食材を使った料理や泡盛を扱う「飲食屋台・物産展」、三線教室などのワークショップ、沖縄の伝統舞踊「エイサー」の演舞、沖縄ゆかりのアーティストが出演する音楽ライブなどが行われる。詳細はラチッタデッラのホームページで。

ヘルプカード配布開始へ 浜松市、障害者ら支援の輪拡大 静岡新聞 2018年4月27日



浜松市が5月から配布を始めるヘルプカード＝市役所

浜松市は5月1日から、障害や持病がある人や妊婦らが周囲に助けを求めたい時に使う「ヘルプカード」を市役所、市保健所、区役所で配布する。障害保健福祉課の担当者は「助けが必要でも声に出せない人がいる一方で、助けたくても何をしたら良いか分からない人もいる。カードを通じて支援の輪が広がれば」と話している。

カードは氏名や生年月日、血液型、緊急連絡先などの情報や、「人工透析が必要」「手話通訳・筆談が必要」「意識がない場合は救急車を呼んでください」といった必要な支援内容が具体的に記してある。折りたたむと免許証ほどのサイズになる。市ホームページからダウンロードすることもできる。

ヘルプカードは「手助けが必要な人」と「手助けしたい人」を結ぶために考案され、全

国で導入が広まりつつある。市によると25日現在、政令市20市のうち11市で導入している。静岡県内では熱海市、湖西市、伊豆の国市で取り入れている。

問い合わせは浜松市障害保健福祉課<電053(457)2864>へ。

福井国体開会式に五木ひろしさん 福井県が出演著名人を発表

福井新聞 2018年4月27日



五木ひろしさん

福井県は4月26日、今秋の福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会（全国障害者スポーツ大会＝障スポ）の開・閉会式に出演する著名人を発表した。国体開会式で同県美浜町出身の歌手五木ひろしさんが登場。障スポ開・閉会式では手話ダンスグループ「HANDS I G N」がパフォーマンスを披露する。障スポ閉会式には、同県坂井市出身の歌手高橋愛さんがリーダーを務めた「モーニング娘。」OGによるコンサートもあり、大会全体を締めくくる。

9月29日に福井市の9・98スタジアム（福井県営陸上競技場）で行われる国体開会式で、五木さんは式典後の歓迎コンサートに出演、古里を歌う曲を含む数曲を披露する。式典前の歓迎県民イベントでは、福井市出身の俳優津田寛治さんと同市出身のタレント西村まどかさんがゲスト司会を務める。津田さんは10月9日の国体閉会式の県民参加イベントにも出演する。

10月13日の障スポ開会式では、福井市出身のモデル鹿沼憂妃さんが歓迎県民イベントのゲスト司会を務め、福井放送元アナウンサー西田隆人さんら4人組の手話ダンスグループ「HANDS I G N」が歓迎コンサートに出演する。鹿沼さんとHANDS I G Nは同15日の閉会式の県民参加イベントにも登場。「モーニング娘。」の卒業メンバーが式典後のファイナルコンサートに出演する。メンバーは開演まで明かされない。

西川一誠知事は記者会見で「五木さんは古里を愛し、努力を重ねた大歌手。式典では福井のしあわせと元気を発信し、選手にエールを送りたい」と述べた。

社会福祉士2755万円横領 後見制度を悪用 佐賀などの5人被害

西日本新聞 2018年04月27日

公益社団法人佐賀県社会福祉士会（佐賀市）に所属する30代の男性社会福祉士＝福岡県久留米市＝が、認知症などで判断能力が十分でない人の財産管理を行う成年後見制度を悪用し、昨年11月～今年4月上旬、福岡と佐賀両県の30～80代の男女5人の預金口座から計2755万円を着服していたことが分かった。同会は26日、佐賀市内で会見し、業務上横領容疑で佐賀県警に刑事告発する方針を明らかにした。

男性は2010年から同会に所属。後見や保佐となった同会の実務を担当し、6人の預金通帳を預かっていた。今月23日、同会との面談で「経営していた障害者施設の運営が悪化し、補填（ほてん）のためにした」と説明し不正が発覚した。

同会は昨年11月、提出書類の遅延など男性に職務上の問題があったため、今年3月末までに通帳の返還を求めていたが、本人に会えず、結果的に被害拡大を招いたという。鍋島恵美子会長は「多数の被害者、多額の被害が発生し、心よりおわび申し上げます」と陳謝した。

社説 福祉担う人材の確保策 「やりがい」伝える工夫を 毎日新聞 2018年4月27日

介護など福祉現場での働き手不足は深刻だ。このままでは団塊世代が75歳を過ぎる2025年には大量の介護離職が生じる恐れがある。

現役世代が働き続けられるようにするために、介護や保育の人材確保策を急がないといけない。

昨年の有効求人倍率は全国平均で1・50倍だったが、介護職は都市部の自治体で5倍を超える。介護施設をつくっても職員が足りないため運営できない例もあるほどだ。

福祉に人材が集まらないのは賃金水準の低さが挙げられる。ここ数年、政府は福祉職員の処遇改善策を実施しているが、一般職の賃上げに追いついていないのが現状だ。

安倍政権は「介護離職ゼロ」を掲げ、介護職員を25年までに大幅に増やす方針だ。介護福祉士を目指す学生に月5万円の修学資金を貸し付けることや、仕事を離れた人が再び仕事に就く場合の20万円の準備金の貸付制度も検討している。

ただ、資格取得の促進や経済的支援だけでは効果は限定的だろう。

福祉系の大学や専門学校では介護福祉士や社会福祉士の資格を取得しても、卒業後に自治体や社会福祉協議会などの事務職を目指す学生が多い。高齢者や障害者支援のやりがいや楽しさを教えることができる教員が少ないことが指摘されている。

福祉現場から離職する理由としては「相談できる人がいない」「法人の理念がよくわからない」という声がよく聞かれる。経験を積んだスタッフが足りないため、若い職員の育成ができず、離職を止められないという悪循環が生じているのだ。

介護福祉士の資格取得者のうち現場で働いているのは半数程度と言われる背景には、賃金水準の低さとともにそうした事情がある。

福祉系大学の授業や実習の見直し、現場職員に対する支援や育成を充実させることが必要だ。国や自治体が職場横断的に現場職員の育成や相談の体制を構築していくことも検討してはどうだろう。

最近福祉系以外の大学・学部から福祉現場への就職を希望する学生が増えている。一般企業を中途退職する人の中にも福祉現場を転職先に考えている人が多い。そうした人々への情報提供や育成についても拡充していく必要がある。

社説:2040年の日本 人口減危機へ戦略を構築せよ 読売新聞 2018年04月27日

2040年の日本社会はどうなっているのか。短期的な成果を追いかける政治から脱却し、未来を見据えて必要な施策を考えることが大切だ。

総務省の有識者研究会が、40年の日本が直面する課題を網羅的に挙げ、政策の方向性を示した第1次報告を公表した。6月にも最終報告をまとめる。

この年に生まれる子供は74万人と推計され、1970年代前半の3分の1に減る。団塊ジュニア世代は全て退職期を迎え、3人に1人以上が高齢者となる。東京圏など3大都市圏は高齢化が加速し、医療・介護の人材が不足する。

報告が「未曾有の危機」と警鐘を鳴らすのは的を射ている。

少子化を克服するため、待機児童の解消など子育て支援策の充実が急務である。だが、仮に出生率が改善しても、当面の人口減は避けられない。将来の危機から目を背けず、解決の処方箋を早急に作る必要だ。

安倍内閣は「地方創生」を掲げ、地域の産業振興や雇用創出に取り組んできた。従来の施策の延長線上にとどまり、長期的な視点に欠けたことは否めない。

研究会の提起を、近視眼的な政策を改めるきっかけとしたい。

重要なのは、人口減に対応し、社会の制度や仕組みを徐々に変えて、軟着陸を図る戦略である。

身近な行政サービスは縮小を余儀なくされる。小中学校の統廃合が進み、上下水道などの維持コストも上がる。高度成長期以降に整備された道路や橋、トンネルなどの老朽化が深刻となる。

地方自治を担う人材の確保や、公共インフラの維持・更新に計画的に取り組むべきだ。

研究会は、自治体の枠を超えた連携の強化を促している。

政府は、人口20万人以上の都市とその周辺自治体が協力する「連携中枢都市圏」を推進している。全国で28あり、図書館の相互利用をはじめ、観光振興や企業誘致などを共同で進めている。

個々の市町村が全てのサービスを提供する、との固定観念にとらわれてはなるまい。

右肩上がりの経済を前提とした制度の改革も欠かせない。

膨張する医療・介護の費用を抑制し、持続可能な社会保障制度を構築しなければならない。生産年齢人口の減少を踏まえ、高齢者や女性が働きやすいように、雇用の制度や慣行を見直すべきだ。

関係省庁や自治体は民間の知見を生かして、多角的な検討を重ねることが求められる。

社説:個人情報流用／ネットに広がる闇の深さ

神戸新聞 2018年4月27日

フェイスブック（FB）は、誰もが無料で利用できるインターネットの交流サイトとして急成長を遂げた。月間利用者は全世界で21億人超、国内では2800万人に上る。

近況を書き込み、写真や動画を公表する。多くの人と話題を共有できるのが魅力だが、性別、年齢、メールアドレス、交友関係などの情報も蓄積される。

知らないうちに自分の情報が他の目的に使われたら…。米国などで発覚したFBの情報不正利用は、そうした危惧が杞憂（きゆう）でないことを浮き彫りにした。

便利なネット利用の背後には、正体の知れない闇も広がっている。リスクとどう向き合うか、真剣に考える時だ。

流出したのは8700万人分の個人情報だ。日本人10万人分が含まれる可能性がある。英国の政治コンサルティング企業に渡り、一昨年の米大統領選でトランプ陣営に有利になるよう使われた疑いが浮上している。

手口は巧妙だ。英国の研究者が性格判断用のアプリを開発し、約30万人がそれをFB上で使用した。アプリを通して、本人だけでなく、友人の情報まで取得する仕組みになっていた。

研究者は、そうして得た情報を、FBの規約に反して外部企業に提供した。FBが削除を求めたが応じなかったという。

個人情報を基にすれば、一人一人の交友関係や活動などに応じた個別の広告、メッセージを送れる。最大の問題は、不正取得された情報が公正であるべき選挙戦に利用されたことだ。

米大統領選では、民主党クリントン陣営に対する批判拡大などに効果を上げたとされる。FBの最高経営責任者ザッカーバーグ氏は米議会で「情報の悪用から利用者を守る取り組みが不十分だった」と認めた。

欧州連合は、企業による個人情報利用を厳しく制限する「一般データ保護規則」を5月に施行する。FB自身も、外部業者による個人情報へのアクセス制限や2万人体制での利用者保護などの対策を打ち出した。

本人の同意なく第三者に個人情報を提供する行為は日本の国内法でも禁じられ、政府も調査を始めた。国境を超えた連携でネットと個人情報保護のあり方を検討せねばならない

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

